

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

12月号(NO3)通巻 153号

2018年12月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】小さくても来春のため準備もしている！

○急に冬らしい陽気になったのは12月になってからだった。だが4日は20℃になっていた。8日には9℃だったので急激な変化である。北海道から日本海側は雪である。7日が旧暦の“大雪”だったので、旧暦の季節に合わせたような感じである。1日からOB会や忘年会が続いている。年齢的なこともあるのかOB会も多い。今年は、健康第一にして欠席させてもらう会が多い。だが、機会が限られていると思うと寂しいものがある。それに、大事にしたい会ほど参加出来ない事が多い。酒宴は好きなのだが無理はいけないと思っている。楽しい事にも体力が必要だと最近気づいた。

○やり残しの片付けや剪定など少しずつ進めて来ていたが12月に入って中断が続いていた。菜園仲間が、忘年会に合わせ6日に木の剪定などやって頂ける予定だったが、雨が確実の予報で中止になった。手伝って頂ければ何とか年内にと思っていたが、怪しくなってしまった。改めて他力本願はいけないと思った。親鸞の教えと意味が違うのである。自分で出来る範囲で進めるしかないのである。

○体調維持が難しいと欠席して空いた日程で、ハウスパイプ、支柱など雑物の片付け、プラムやブルーベリーの剪定などを頑張った。片付けの進捗と体調維持と一石二鳥である。作業はやればやるほどやり残しが見えてくる。やらねばならない事の多さに圧倒されるが、綺麗になったエリアに小さな達成感がある。廃棄物になった農資材には、栽培した作物が思い出される。今までやって来た事の巻き戻しをしている様な気もして来る。

○やはり来春の準備の作業もしなくてははいけない。より良い実を付けるためのブルーベリーの剪定である。Iさんから教えて頂いた仕方始めた。トマトの採種もした。友人から頂いた絹莢の種も蒔いた。小さくても来春のための準備もしている。(丁)

【楽農】畑の片付けの進捗少々？

<畑>ブルーベリー剪定、絹さや播種少々。

【楽市】イベント交流・直売など。

○イベントなど；いいパートナーフェスタ講座(11日)映研OB会(1日)ラクビーOB会(4日)共生の会(6日)川柳の会(6日)ピッコロファーム忘年会(6-7日)に参加など。

【つぶやき = Tweet】「この紋所が目に入らぬか！」

○何日か前のラジオで損得の論理で考える中国人と筋論で考える日本人の事を話されてい



<はやと瓜>一株植えてあったもの。30日撮影



<耕起した畑>30日撮影

た。記憶が定かではないが、整然と順番待ちする日本人、横入りする中国人を例えに話されていた。横入りを注意された中国人は後ろに下がって並ぶという。他人の得を侵害はしない。というようなことを話されていた。脱亜入欧の考えで？アジア人蔑視の考えの人は余りいないと思うが、やはり中国人はと云われては困るのだが、。国によって価値観の基軸なる物が少しずつ違う。支配者の意向が反映し易い社会形成の違いによるものだと思う。

○アメリカは訴訟社会で日本は情の社会と云われる？。かつてはと、ことわりが必要のような世相になっている。弱者への視点は情が厚いとは思えない。明治政府の要職あった勝海舟は“日本の制度、文物はことごとく中国から伝来した。仇敵のように見るのではなく、交際されたい”いったことを先月号で述べたが、今も同じことを思っている。歴史、社会の認識は恣意的にしてはいけないと思った。先日の酒宴での話題が、野菜、子供食堂などから防衛問題などに進んだ時にも感じたことである。



＜紅葉の日比谷公園＞松本楼から。1日撮影

○「この紋所が目に入らぬか！」と言われ、下々の者は「ハハーッ」と膝まづくは、黄門さんの馴染みの勧善懲悪のシーンである。家紋を見せるだけで反乱が収まるわけですから支配者側からすればこれ以上都合の良い思想はないわけである。徳川幕府は儒教から派生した朱子学を薦めた。隣の韓国はご存知のように儒教の国である。3割が信者と言われるキリスト教の国でもある。韓流ドラマを観ると似たものを感じる。日本で人気があるのは似たような価値観があるからかも知れない。善隣友好で行きたいものである。

○最近気弱になっていると云われる。確かに、格言などに心の救いを求めることが多くなった。本屋の店頭でパスカルと三木清の文字が見えた。世界思想全集は本棚に有るのだが買ってしまった。人生論メートの題名に惹かれたのかもしれない。三木清の生きた時代と今の社会が酷似していると巻頭にあった事でも読みたくなった。大分前になるが、嘗ての上司が定年後のたまたま駅頭で会った時に分厚い哲学書を持っていて、今これを読んでいよと言われた。定年後ヒマ任せに読んでいるのかなと当時は思った。現役時は本を読む時間はなかった。みように納得した。深く考えている訳ではないが、最近、私の人生これでいいのかと思うようになっていたので、哲学書を読みたくなる心境が同じような気がした。“デカンショ、デカンショ（デカルト、カント、ショペンハイエル？）で一年暮らす”と学生寮で唄われていた時代があったと聞くと羨ましくなる。豊かな社会で無くても、である。人生論ノートは今を生きる手引きなるかもしれない。気弱解消に繋がればと思う。

○断捨離は、畑の片付け、鉢など雑物少々。

【後記】霜枯れの笠間へ Kogure 農場にお越し下さい。【特に編集せずランダム構成にする】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸 4 2 0 1 - 1 0

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；[kogure農場](http://kogurefarm.com)